

# 五小っ子

平成30年度 学校便り第20号 (1月11日)

島原市立第五小学校  
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**  
『生命を大切にし、進んで学ぶ  
心身ともにたくましい子どもを育成する』  
○ やさしいいっぱい ○ かっこいいいっぱい ○ たくましいいっぱい  
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を  
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

## 平成31年3学期始業式 新年おめでとうございます。

1月8日の3学期始業式では、「冬休み中、一人の事故もなく無事に始業式を迎えることができた事、それが五小の先生達にとって一番のお年玉です。」と子どもたちにまず伝えました。

また、一年で一番寒くて一番短い学期である事、次の学年への準備をするための大切な学期であることも話しました。

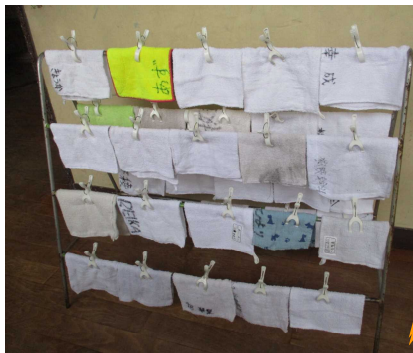
1年生から5年生は50日、6年生には48日しかありません。寒さなんかには負けることなく、元気いっぱい過ごすようにと励ましました。

1年生は4月に入学してくる新しい1年生58名のお兄さんお姉さんになる準備を今日から始めること、2年生から5年生も一つ上の学年の準備をそして6年生は中学生となる準備を始めます。

短い学期ですが、やることが沢山ある3学期が充実したものになるよう、祈っています。この一年、平和でおだやかにそして元気に過ごす事ができますように、保護

者・地域の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

始業式の後、5年生2名が「新年の抱負」を発表してくれました。



真新しい雑巾  
新学期の大好きな光景です



つもった雪  
金子みすゞ  
上の雪  
さむかるな。  
つめたい月がさして  
下  
の雪  
重かるな。  
何百人ものせて  
中  
の雪  
さみしかるな。  
空も地面もみえないで。

**ぜったいダメ！！** 3学期も子どもたちの安全・安心な生活を守るため特にしっかり指導しておきたいのが「火遊び」「無駄遣い」「校区外への遊び」です。

最近の報道によると東京消防庁管内では、12歳以下の子どもの火遊びに起因する火災が過去5年間で234件発生したそうです。

また、火遊びによる火災で4人の子どもが亡くなっています。「火遊びにより死者2人、負傷者1人が発生した火災」という一つの事例をみてみましょう。



この火災は、住宅の3階居室から出火したものです。

火元の家は両親と子ども2人（幼児）の4人家族で、出火時は子ども2人が留守番をしていました。

出火原因は、子どもがライターで火遊びをしたため、こたつ布団等に着火し出火したものです。この火災により、子ども2人が逃げ遅れて死亡し、救助活動を行った近隣住民1人が負傷しました。



### ー火遊び火災を防ぐためにー

- ① ライター等は、子どもの目に触れない場所、かつ、手の届かない場所で厳重に管理する。
- ② 子どもには、幼児期から火災の怖さや火遊びの危険性を教える。
- ③ 幼い子どもだけを残して外出しない。
- ④ 子どもの安全を守るため、子どもが簡単に操作できないチャイルド・レジスタンス・ライター（CRライター）を使用する。
- ⑤ 小学生になると、公園など屋外で火遊びをする子どもが増えることから、親、学校、地域が連携して、子どもの火遊び火災を防ぐ。

このような痛ましい事故が起きないように、子どもの火遊びを事前に防止しなければなりません。学校と家庭・地域で連携協力しての見守りをお願いいたします。

## 書き初め大会

昨日、4・6年生が書き初め大会に挑戦しました。

ピーンと透きとおった冷たい空気の体育館にはBGM♪春の海♪が流れて新春の雰囲気を高めていました。

お題は6年生「夢の実現」、4年生「美しい心」です。

この一年への強い思いを心に抱きながら条幅紙に向かう姿に頼もしさを感じました。



※昨年12月7日にヒマワリの種とメッセージを乗せた風船を飛ばしました。年末、お二人から返事が届きました。(いずれも熊本県)なんと、年明け早々に大分県佐伯市の方から返事が届きました。九州山地を越える大航海です！！